



一般社団法人日中化粧品国際交流協会 Japan-China Cosmetic Exchange Association
〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター TEL :81-78-381-5304 FAX :81-78-303-3077
<http://www.cosmo-jc.org>

コロナ収束後、協会は日中交流イベントを積極的に行ってまいりましたが、今回は個別ニーズに応える形で、「CITE JAPAN 2025 化粧品産業技術展」開催期間の、5月14日～15日にかけて、中国側会員向けの小規模な視察イベントを開催しました。

5月14日午前、資生堂の未来型美容体験施設「Shiseido Beauty Park」を訪問しました。

最先端の皮膚免疫研究の紹介や五感を刺激する体験を通じて、資生堂が追求する“美の本質”と、その技術革新に直に触れるとともに、化粧品業界における競争の本質は、単なる製品力ではなく、“体験”や“価値”をいかに伝えるかにあることを、参加者があらためて実感する機会となりました。

日本の美容業界を牽引するブランドとして、資生堂の高い技術力と独自の美学は、中国会員の皆様にも強い印象を残しました。



午後には、世界的な健康食品企業・ヤクルトの湘南化粧品工場に移動し、「体の内側」を整える乳酸菌飲料と、「体の外側」をケアする化粧品による“内外美容”というヤクルト独自の理念、そして日本ならではの精密な製造体系についてのレクチャーを受けました。

当日は、映像視聴に始まり、オリジナル成分の体感、化粧品の生産ライン見学、製品体験、など、充実した約90分のプログラムを、3名のスタッフがスムーズかつ丁寧に進行されていました。

見学後には、集合写真付きの記念レターも配布していただき、参加者の記憶に残る訪問となり、日本の「高品質」と「おもてなし」の精神が生み出す付加価値を実感する機会となりました。



翌 15日は終日化粧品産業技術展「CITE JAPAN 2025」を視察しました。今年は 405 社が出展し、来場者数は 66,000 人を超える盛況ぶりでした。

協会では、中国会員の関心や業種に応じて、事前に視察ルートを綿密に計画しました。特に日本会員の皆様の出展ブースについては、あらかじめ出展内容を確認のうえ、視察ルート内に優先的に組み込みました。当日は、協会スタッフが中国会員を日本会員のブースへ直接ご案内し、出展内容のご紹介やその場での商談のきっかけづくりを積極的にサポートいたしました。

日本会員のブースでは、中国会員との間で活発な意見交換や製品説明が行われ、具体的なビジネス商談につながるケースも見られました。こうした交流を通じて、双方にとって新たな協業や販路拡大の可能性を実感する貴重な機会となりました。

協会としても、本視察で得られた知見やネットワークを今後の活動に活かし、近々、日本会員の皆様を対象とした講演会を企画し、ご案内申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

